

いずもぎ

議会だより



交通安全教室

第59号

2008

平成20年5月9日

発行/出雲崎町議会
責任者/議長 中川正弘
編集/議会報特別委員会

〒949-4392
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(78)4483

3月定例会

もくじ

・ 定例会のあらまし、社会産業常任委員会報告	…	2～3
・ 平成20年度予算決定	……………	4～5
・ 臨時会のあらまし	……………	6
・ おたずねします、お答えします	……………	7～10
・ 議員研修報告	……………	11
・ 町民の声「あなたは出雲崎のことを 知っていますか？」	…	12

◆定例会のあらまし◆

（会期 3月10日から 10日間
3月19日まで）

*** 3月定例会で決まった補正予算 ***

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第11号)		△2億6,324万9千円	43億 173万1千円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第4号)	29万2千円	6億2,978万9千円
	老 人 保 健 (第3号)	5,109万円	7億9,926万8千円
	介 護 保 険 事 業 (第3号)	△ 6,466万1千円	5億4,317万6千円
	簡 易 水 道 事 業 (第6号)	△ 1,902万3千円	2億7,634万3千円
	特 定 地 域 生 活 事 業 (第3号) 排 水 処 理 事 業	△ 1,840万円	6,610万円
	農業集落排水事業 (第3号)	△ 5,850万円	5億5,600万円
	下 水 道 事 業 (第5号)	△ 3,681万8千円	6億1,640万円
住宅用地造成事業 (第1号)		3,256万7千円	4,276万7千円

今回の補正は、年度末を控えての件費、社会福祉費、工事請負費、負担金、補助金及び交付金等の精算見込による計数整理が主なものです。

定例会は、19年度補正予算並びに20年度一般会計・特別会計予算、条例制定・一部改正など、議案34件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

尚、陳情1件を採択、発議では、出雲崎町議会委員会条例の一部改正、出雲崎町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正及び意見書1件を可決しました。



提案說明

議会のうごき
(主なもの)

〔平成20年1月～3月〕

議 会 報 特 別 委 員 会

10 全員協議会

社会産業常任委員会

議会議事録

議事録
特別委員会

議 員 懇 談 会
0 23

2. 4 3
議員懇談会
義会軍営委員会

議会運営委員会
議会運営委員会

2月臨時会

15 町議会議長会定期総会、議長懇談会

(新潟市)

19
全員協議会

新潟県後期高齢者医療広域連合議会全員

協議会、2月定例会

20 総務文教常任委員会（学校視察）

21～22 出雲崎町議会・農業委員会合同視察研修

(長野県)

議 会 運 営 委 員 会

10 議会運営委員会

3月議会定
議員会

議員懇談会
予算審査特別委員会

41 予算審査特別委員会
定例会2日目（一般質問）

社会産業常任委員会 定例会（2日目）（一般）

1 社会産業常任委員会
総務文教常任委員会

19
議会運営委員会

定例会最終日

全員協議会

議
会
報
特
別
委
員
会

22 東京出雲崎会定時総会（東京都）

28 長岡地域広域行政組合議会3月定例会

可決した条例制定など

- ◆ 出雲崎町課設置条例の一部改正
 - ・事務量のバランスを考え、担当する課を定めるもの。
- ◆ 出雲崎町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
 - ・育児と仕事が両立できる制度の導入をするもの。
- ◆ 出雲崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 - ・勤務時間外、有給休暇等を規定するためのもの。
- ◆ 出雲崎町職員の給与に関する条例の一部改正
 - ・改正に伴い、関係する条文の整理をするもの。
- ◆ 出雲崎町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び出雲崎町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
 - ・一年間町長月額20%、副町長・教育長3ヶ月間5%削減するもの。
- ◆ 出雲崎町国民健康保険条例の一部改正
 - ・負担の公平性から資産割をなくして所得割、均等割、平等割の3方式にあらためるもの。
- ◆ 出雲崎町奨学金貸与基金設置、管理及び運営に関する条例の一部改正
 - ・貸与基本額300万円を450万円に増額するもの。
- ◆ 出雲崎町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正
 - ・関連条項等の整理、文言の修正など。
- ◆ 出雲崎町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

・助成の範囲の負担金の額を金額標記し、条文の整理を行うもの。

◆ 出雲崎町国民健康保険条例の一部改正

・葬祭費の支給額10万円を5万円に改正するもの。

◆ 出雲崎町介護保険条例の一部改正

・激変緩和の措置を引き続き継続するための所要の一部を改正するもの。

◆ 出雲崎町後期高齢者医療に関する条例制定

・広域連合を組織する市町村でも医療に関する市町村条例を定めるもの。

◆ 新潟県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更

・市町村長協議会の設置に伴い、規約に、その設置規定を加えるもの。

◆ 北国街道妻入会館の指定管理者の指定

・ねつとわーくさぶらいを指定管理者に指定。

◆ 出雲崎町議会委員会条例の一部改正

・文言を改めるもの。

◆ 出雲崎町議会の議員の報酬及び費用、弁償等に関する条例の一部改正

・議員の報酬を3ヶ月間3%減額するもの。

可決した意見書

- ◆ 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

提出先

議長 長 議員 長 議長 長
副議長 大 議員 大 議員 大
総務 大 議員 大 議員 大
財政 大 議員 大 議員 大
厚生 大 議員 大 議員 大

人事案件

監査委員の選任

志田 忠護氏
(大字羽黒町)

社会産業常任委員会調査報告



石油櫓の倒壊前

平成18年11月7日午後2時10分頃、暴風により石油記念公園内の石油櫓が倒壊した。その後、断続的に協議してきたが、「石油産業発祥の地として、また石油記念公園のシンボルとして、櫓は復元したほうが良い」という意見に集約された。

本委員会では、建設当時のようにポンピングユニットハウスを取り囲んだ中で高さ15m程度の「石油櫓」を整備することが望ましい。時期については、財政事情等、総合的に十分検討し最も適切な時期に行うこととし、「石油櫓」とポンピングユニットハウスを整備する時期が異なっても支障はないものとした。

社会産業常任委員長 中野 勝 正

当初予算決定

(対前年度5億4,160万円の減)

町道改良事業と環境対策などを推進

一般会計の予算は**31億5,300万円**
(対前年度 1 億4,200万円の増)

◇一般会計の主な事業

(※は新規事業)

事業名	事業費	摘要
障害者福祉サービス費	5,223万8千円	居宅介護サービス・施設支援サービスなど
保健福祉事業委託料	1,258万7千円	生きがい活動支援通所事業、機能訓練事業 高齢者筋力向上トレーニング事業などの委託料
保育実施委託料	1億2,007万8千円	保育園保育の実施委託料
児童福祉扶助費	3,511万円	児童手当、小学校修了前特例給付金など
塵芥処理委託料	5,512万7千円	一般ごみ収集運搬委託料、廃棄物処理事務委託料、指定袋等作成・配達管理委託料など
県営漁港整備事業	1,000万円	事業負担金
※天領の里工事事業	2,310万円	時代館設備改修工事 石油記念公園自走さく孔機展示建屋修繕工事
道路新設改良舗装事業 (4路線)	1億2,690万円	上中条米田中山線、六郎女線 立石稲川線、乙茂藤巻神条線
街なみ環境整備事業	8,030万円	街なみ環境整備工事・景観舗装工事 (尼瀬、木折町、井鼻)
※町営住宅建設事業	1億7,983万3千円	災害公営住宅工事(4戸)、一般公営住宅工事 (5戸) など
小学校通学バス運行事業	1,953万4千円	小学校児童の通学バス運行
※中学校教室等工事事業	2,895万7千円	教室等床改修工事など
公共土木施設災害復旧事業費	3,000万円	19年災道路災害復旧工事

平成 20 年 度

総額50億2,720万円

中越沖地震の復旧・復興事業を重点に観光活性化、

特別会計(9会計)の予算は**18億7,420万円**
(対前年度6億8,360万円の減)

◇特別会計の主な内容

国民健康保険事業会計

5億6,770万円 (320万円増)

被保険者療養給付費	3億3,201万1千円
後期高齢者支援金	5,737万9千円

老人保健会計

7,630万円 (6億6,450万円減)

医療給付費	7,000万円
-------	---------

介護保険事業会計

5億900万円 (3,970万円減)

介護サービス給付費	4億3,873万3千円
介護予防サービス給付費	1,487万6千円
特定入所者介護サービス等費	1,782万4千円

後期高齢者医療会計

7,200万円 (7,200万円増)

後期高齢者医療広域連合納付金	6,792万円7千円
----------------	------------

簡易水道事業会計

1億5,100万円 (2,950万円減)

施設維持管理費	3,559万8千円
配管布設整備費	4,430万円
公債費	3,093万9千円



予算委員会

特定地域生活排水処理事業会計

2,000万円 (200万円増)

浄化槽維持管理費	903万2千円
公債費	1,036万1千円

農業集落排水事業会計

1億8,120万円 (1,550万円増)

施設維持管理費	3,317万3千円
公債費	1億3,267万2千円

下水道事業会計

2億9,030万円 (3,910万円減)

公共下水道事業費	693万円
施設維持管理費	4,321万5千円
公債費	2億1,821万3千円

住宅用地造成事業会計

670万円 (350万円減)

住宅団地管理費	468万5千円
---------	---------

◆ 2月臨時会のあらまし ◆

(会期 2月7日 1日間)



議員 宮下 孝幸



副議員 田中 元



議長 中川 正弘

議長・副議長の辞職に伴い新議長に中川正弘氏・新副議長に田中元氏に決まりました。
1月27日執行の出雲崎町議会議員補欠選挙に宮下孝幸氏が当選されました。
2月臨時会は、報告1件、議案4件が提出され、慎重審議の結果、いずれも可決・承認しました。

* 臨時会で決まった補正予算 *

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第9号)	186万8千円	43億5,474万1千円
一 般 会 計 (第10号)	2億1,023万9千円	45億6,498万円
特別会計 下 水 道 事 業 (第1号)	△ 30万円	6億5,321万8千円

一般会計補正予算

おもな歳出

- ・ 灯油購入費助成…………… 181万円
- ・ 水産物共同荷捌所新築補助…………… 1億8,713万3千円

特別会計補正予算

おもな歳出

- ・ 災害調査業務委託料減…………… △600万3千円

	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	議会運営委員会
委員長	田 中 政 孝	中 野 勝 正	田 中 政 孝
副委員長	小 林 泰 三	宮 下 孝 幸	中 野 勝 正
委員	南 波 榮 一	山 崎 信 義	日 山 正 雄
委員	田 辺 雅 巳	日 山 正 雄	
委員	中 川 正 弘	田 中 元	

おたずねします お答えします

合併問題について

中野 勝正 議員

駅前地区について



合併問題について

質問 施政方針の中で「町の現状や財政事情など、あらゆる情報を町民の皆様にお伝えし皆様の判断を求めて参る」「時にはリーダーシップを発揮しながら渾身の力で町政運営を進めていきたい」と述べておられます。私は、今年中に町民に判断を求めていると思います。

答弁 私と申します、町長の答弁をお願いします。私の基本的な考えを総括的に意見を6点にわたってお答えをします。第1点は、昨年25会場にわたって合併問題について、町民各位のご意見は、今すぐ結論を出さず、慎重に対応すべき。第2点は、地震被害がようやく復興・復興に向けてのめどが立ったわけですが、まだ、仮設でのお暮らしで、不自由な生活をしておられる皆さんがたくさんおられます。そのような観点から民意を問うということ、今の段階では無理です。第3点は、中越沖地震で被害が大発生をしたわけで

ですが、対応は合併した町村と比較すると、合併をしなかった出雲崎の現実、実績が評価をされたと思います。第4点は、いろんな面において地方に対する財政措置が手厚くなっています。第5点は、財政状況は、計画どおりです。第6点は、合併した地域においては、役場が遠くなつた。行政サービスが低下した。いわゆる痛みを伴う合併が先行したために、苦しんでおられる地域もあります。また、国が道州制について政策の方向をしめています。

以上の点から今年中という点ではなく、慎重に機熟してまいったなら皆さんからも、いろいろご意見を承りながら行動してまいります。

質問 「商工会との連携を図りながら地域の賑わいを取り戻したい」と話されておられますが、具体的にはどのようにされるのか町長の所見をお伺いいたします。

答弁 主体性はあくまでも商工会の振興会とか、あるいは一つの共同組織をつくった中において、復興基金を充てて活性化を図る。いわゆる商工会の団体、また志を持てる皆さん、あるいは経営者等々が一体となつてこれらの問題に対しまして、責任を持ちながらやっていくという自主的な、意欲的な行動というものは起きてしかるべきです。そういうものに対して行政として積極的にご支援を申し上げます。

第一次産業の活性化は

田 中 元 議員

質問 国の農業政策の統一性のない中で、農家は自分の生産した米の価格が、現在でも決定せず不安な状況です。

町長は地元産コシヒカリについて、ブランド化をはかり、高品質、高食味米の生産を農家にお願いと発言されておりますが、農家はすでにその米は出来上っています。町は助成・補助政策は充分です。



跡地利用で活性化（JA跡地）

全農、経済連、JAに對し強力な話し合いや指導ができませんかお尋ねします。

答弁 出雲崎産コシヒカリの一等米は県下のトップクラス、高品質、食味で大勢の消費者から好まれます。ある現実

の中で、努力した人が報いられるよう認定農業者の総会でJAに申し上げた。また、農業委員会でJAの本所、組合に申し入れたと聞いています。全農、経済連、JAという流通機構でのネットワークがあり、勉強し検討していかなければなりません。

質問 中越地域での拠点である出雲崎港の位置づけの

強化も大切ですが、地元の魚産業の活性化として、直販・加工所が必要と考えます。漁協、行政が一体となって実行に移す考えがありますか。

答弁 出雲崎漁協も新潟漁協と合併し出雲崎支所となりましたが、漁船の数、従事者も減り続け、高齢化しております。魚を付加価値

をつけて高く売ることがベストですが、対応できる人的要員や取り組みができるか現実的に考えると難しい。直販についても漁協に申し入れづらいと考えます。

質問 高価格の米販売、魚の直販については、駅前のJA跡地を利用しJA、漁協、行政、商工会、民間人も巻込んで、駅前周辺の活性化のため直販所建設の考えはありますか。

答弁 農業、漁業、商業の位置づけなど総合的に判断をし、また福祉の位置づけも視野に入

れ、それが点となり、線となり、面となるということを考えるに立って、皆さんの意見も伺ってまいります。



出 雲 崎 港

町長の政治姿勢について

田 辺 雅 巳 議員

質問 町民の生活に直結する財政問題で町長に所見を伺いたいと思います。

社会保険庁の年金問題をはじめ、59兆円の「総額ありき」でムダな道路をつくる道路特定財源問題など国の施策によって、国・地方で多額の借金をつくり、そのしわ寄せが国民に痛みを押しつけることとなり「生活が大変」との声になります。

わが出雲崎町は今後、後期高齢者に見られるように国からの町民負担増の場合に対してどのように「住民の福祉の増進」を図っていくのかお聞きます。

答弁 施政方針の概要の中で健やかで支え合う福祉の町づくりを掲げて各種の政策を進めていくところで

す。

高齢者と障がい者の方々の交通弱者の皆さんの多くは、助成制度を利用されているように配慮していくところであります。また、子育てに関しても、子供の医療費助成を中学校卒業までと拡充し、寝たきり老人の介護手当支給等の拡充などにつきましても、予算の中に提案させていただいていくところです。

質問 財政について町の借金（町債残高約33億5千万円）をどのように返済し少なくしていくのか、歳入、歳出に分けてお聞きます。

答弁 財政運営は収入額を計算しながら支出の計画を立てる。これが大原則であ

ります。33億5千万円の負債残高の内、今後将来とともに交付税処

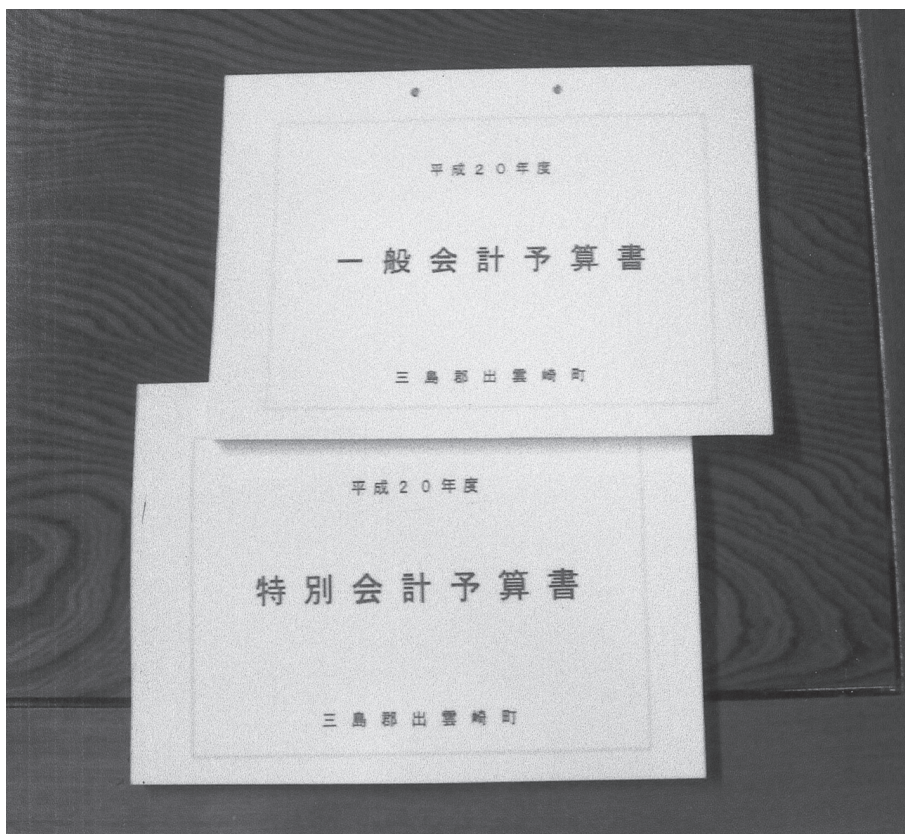
置される金額を除いた実質に町が負担する元利償還金は7億5千万円です。交付税の大きい措置のあるものを借金、起債するということが基本で、交付税措置のないものは極力借金はしないと考えています。歳入は、交付税の依存する方が大きい。有利な起債とか、少しでもできるところから政策的に努力をしながら、自

主財源の確保をしていくこととはしていかねければならないと思います。歳出は、生活基盤の整備、道路整備は今後も継続して進めます。

質問 ゴミ有料化で町民負担が増える事になります。が、今後、町民に負担増を

かけずにする事が大切だと思いますがいかがでしょうか。

答弁 今ここで負担をいただくことが将来プラスになる。家計の助けになるのだということ常々考えながら進めていきます。



20年度予算書

高齢者福祉の拡充と医師不足解消について

宮 下 孝 幸 議員

質問 町長は常々、小さくともキラリと光る町づくりとの話しをされていきますが、当町も高齢化が進み、その高齢者にとって最も難題となっている事の一つに日々の買い物あげられます。

集落付近の商店が不況や店主の高齢化により廃業となり、買い物どころと遠方化しているという深刻な現実。車社会とは言え、元々免許のない方、図らずも高齢の為、運転が出来なくなつた方々にとり日々の買い物は大変な重労働であり、特に老人車の使えない冬期間は死活問題です。高齢者比率の高い

当町にとり、キラリと光る町づくりとは、正にこの様な社会的弱者が安心して生活の出来る町であり、これが支えあうという福祉の原点と考えます。

支援施策論は後にして、まず持つてこの点につき、日常の難儀を抱えておられる世帯の実態を早急に調査すべきと考えますが、

見解を伺います。



安心して生活できる町へ

答弁

当町の高齢化率は35・91%。限界集落は当町では9集落に及びます。ご指摘の問題は、私も切実な

問題と思います。

現在、配食サービスなども行っていますが、ご提案のサービスも含め色んな視点角度からサービスを検討する時が来ていると考えま

す。ご提案の世帯調査については、ご質問の趣旨に沿い今後積極的に進めて参ります。

質問

先般、海岸地区の内藤医師が急病の為入院をされ同時に閉院が伝えられました。内藤医師は永年に渡り数多くの患者さんを支えてこられました。閉院は地域住民は元より、心身に不安を持つ高齢者の方々にとっては、大変な打撃であり深刻な問題であります。

地域医療の灯を消さない為にも、内藤家のご理解とご協力を頂き、代替医師を求め、何としてもあの場所に地域医療の拠点を残すべきと考えますが、見解を伺います。

答弁

議員のご指摘に同感です。地域住民にとっては大きな打撃であり深刻な問題です。先生の回復状況を見極め、ご家族の考えも併せて伺い、町内医院の先生方や長岡医師会などにも図り問題解決に当って参ります。

議員研修報告

2月21日～22日の2日間、議員と農業委員の合同で長野県阿智村と飯田市(株)南信州観光公社の視察研修をしました。

阿 智 村

阿智村は当町と同様に平成の大合併に組せず、自立の道を選択した自治体で、人口は約6,500人で飯田市と隣接し岐阜県と境を接する農山村です。

合併し大きくなる事が住民の幸せになるのかとの疑問から、議会・住民と十分検討し自立の道を選択しました。自立に当り、集落の集合体として村内に7つの自治会を組織。地域要望は全て議員を介さず、自治会を通して行政に要望する仕組みを作っています。自治会と行政は対等な立場とし、行政の下請的存在とはしないとの新しい発想で、



村長からの説明

全村民の意見を集約し、その年の事業や予算決めと言う正に官民一体型行政と言えます。

経済的にも昼神温泉郷の交流人口の増や、工業団地の造成、あるいは行政のスリム化、更に農業への新たな発想や取組みなども積極的に取り入れて行っているとの事です。

しかし一方で、地域代弁者となるべき議員と自治会の関係に微妙な問題があり、大きな課題も残されていますが、当面自立の道を選択をした当町にとり、阿智村の今後の動向は注視にあたいます。

(株)南信州観光公社

平成7年に飯田市が観光施設への設備投資数億円は無駄遣いと指摘により、地元農家などの協力で乗馬、溪流釣、田植や乳しほり体験など地元資源を生かした55の体験プログラムを商工観光課が窓口となり学校体験教育旅行をターゲットに勧誘が行われました。

含め、地域全体の経済効果は7億8億円になると言います。経営の実質的最高責任者である高橋支配人は、大手民間旅行代理店の営業マン出身です。地域住民の全面協力の中、民間ノウハウを生かした高橋さんの経営手腕には益々期待が持てそうです。

(宮下孝幸)



説明を受ける議員

町民の声

『あなたは出雲崎のこと
知っていますか？』

常楽寺

高橋修二



こんなところもあります『孝婦ゆりの碑』

こんな見出しを書くと、いかにも私が出雲崎通だと思われるかもしれませんが、実はまったくの地元知らずな人です。

この間、井鼻の日本海夕日ラインのトイレに立ち寄った時に観光案内の看板を見て、「へえーこんなに観光スポットがあんだ。」と思ったと同時に、自分の知らなかった場所の多さに恥かしくなりました。

出雲崎は江戸時代の天領の地であり、良寛様生誕の地であるように歴史ある町です。

今、歌手のジェロさんの『海雪』の大ヒットのおかげで、我が町は大変注目されています。（町長はカラオケをマスターされたでしょうか？）誰にきかれても町の歴史、観光スポットをちゃんと自慢できるように、私達が出雲崎の良さを再認識するよい機会ではないでしょうか。あなたは出雲崎のこと知っていますか？

表紙の小話



中学校新入生を対象に4月8日交通安全教室が行われました。真新しいヘルメットにピカピカの自転車で受講されたのを見ると保護者の負担も大変だと思います。通学にまた、帰宅してから自転車は必要不可欠であり、いかに自分で自分の身を守るかということが一番大事であり基本であると思います。

全国及び県下の死者数は減少していますが、昨年全国の死者数は5,744人であることは出雲崎町が一年で無くなったことになりました。こんな悲痛な事故に遭わないように常日頃の家庭生活から、余裕をもった行動、生活を心がけて頂ければと思っております。

（田中政孝）

あとがき

昨年は未曾有の中越沖地震による甚大な被害に見舞われ、まだまだ正常な生活を戻せない方々が大勢いらつしやいます。行政も精一杯の援助をしているところですが一時も早く普段どおりの生活に戻るようお祈りいたします。

大変暗い一年ではありましたが、そのムードが黒人演歌歌手ジェロさんのデビューにより多少の明るさが見えてきたように思えます。また、5月24日は「出雲崎マリンビューウエディング」で結婚式が行われることになり、若いカップルが決定しました。是非、てまり団地に新居を構えられて沢山の子供さんが生れるよう期待しているところで

す。

（田中政孝）

